科目名	国内航空貨物						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科 1年						
授業概要	国内航空会社、貨物・グランドハンドリング、国内貨物代理店会社等の航空貨物事業に従事する者に必要な国内航空貨物取扱いに関する基礎的知識を習得し、航空貨物業界において国内貨物上屋で従事する多岐に渡る業務に従事できる人材の育成を目的とする。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					貨物上屋業務(インサイド・アウトサイド)に関する概要を説明することができる。	
		○				空港コード(国内)、航空会社コード、航空基礎用語を習得し解説することができる。	
		○				航空貨物危険物に関わる基礎的なDGRの構成などを説明することができる。	
		○				包装要件と容器の種類・見方・調べ方、マーキングとラベリングの違いを説明することができる。	
			○			過去のインシデントを踏まえ、お客様とのイレギュラリティー対応ができる知識を持ち合わせている。	
テキスト・教材 参考図書	国内貨物郵便上屋ハンドリング基礎テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	貨物概要「事業概要・航空機の概要」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	2	貨物概要「国内貨物の流れ・器材の紹介」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	3	貨物受託「概要・受託梱包基準・貨物外装確認・国内貨物運送状・接続貨物・相次運送貨物・国内転送貨物」				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(0.5時間)	
	4	貨物出発便処理「貨物保管について・貨物積付・ULD計量・搭載計画作成」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	5	貨物到着便処理「到着貨物の仕分け作業・貨物引渡し」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	6	貨物到着便処理「到着貨物の貨物引渡し・到着業務イレギュラー」				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(0.5時間)	
	7	危険物取扱「概要・不具合事例・無申告危険物」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	8	特殊貨物の受託「動物の受託・Perishablesの受託・遺体・遺骨の受託」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	9	特殊貨物の受託「貴重品の受託・重量貨物の受託・社用貨物の受託・電波発信貨物の受託」				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(0.5時間)	
	10	郵便取扱「一般郵便・コンテナ郵便」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	11	郵便取扱「一般郵便・ミリタリーメール」				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(0.5時間)	
	12	ULD取扱「概要・ULDの種類」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
	13	ULD取扱「ULD管理・ULD貸出」				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(0.5時間)	
	14	イレギュラリティー「安全理念・過去の重大インシデント」				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)	
15	イレギュラリティー「国内貨物・郵便の安全品質・身近な安全」				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(0.5時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを6回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 (4)授業への参加状況(発表・発言)。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	◎	◎				5%
	宿題・レポート	○	◎		◎		5%
発表・発言				◎		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外地理						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	松藤 諭		
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	旅行会社で、営業として勤務		
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	世界の国の場所、首都、空港について学び、その国の地理や世界遺産・国勢等も学ぶ。また、日本から就航している空港については、3レター等も学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					世界の国の場所と首都を学び説明ができる	
	○					日本より就航している海外の都市・国について学び、説明ができる	
	○					日本より就航している海外の空港の3レターコードを答えることができる。	
	○					世界遺産の場所と名称を学び説明できる	
	○					世界の観光地について学び説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント対応						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要・シラバス説明			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.5時間)		
	2	アジア諸国(韓国・中国)について①			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.5時間)		
	3	アジア諸国(東南アジア)について②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.5時間)		
	4	アジア諸国(東南アジア)について③			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.6時間)		
	5	アジア諸国(東アジア)について④			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.7時間)		
	6	ヨーロッパ諸国(北欧)① 小テスト①(アジア)			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.8時間)		
	7	ヨーロッパ諸国(西欧)②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.9時間)		
	8	ヨーロッパ諸国(南欧)③			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.10時間)		
	9	ヨーロッパ諸国(東欧)④			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.11時間)		
	10	太平洋オセアニア(ハワイ・グアム)① 小テスト②(ヨーロッパ)			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.12時間)		
	11	太平洋・オセアニア(オーストラリア・ニュージーランド)②			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.13時間)		
	12	太平洋・オセアニア(メラ・ポリ・ミクロネシア)③			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.14時間)		
	13	北アメリカ(アメリカ・カナダ・メキシコ) 小テスト③(太平洋・オセア)			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.15時間)		
	14	中東・アフリカ・南アメリカ			1週間に起こった興味あるニュース・出来事の準備・3レターコード・2レターコードの予習、復習(0.15時間)		
	15	世界情勢、小テスト④(南北アメリカ・中東・アフリカ)					
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト4回 (3)実施興味を持ったニュース・出来事の発表 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				40%
	確認テスト(筆記/4回)	◎	○				40%
	興味を持ったニュース・出来事の発表	○			◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	空港実務 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河野 浩一		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	エアラインのグループ企業にて、グランドハンドリング業務に従事		
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	空港地上支援業務従事者としての基礎知識の習得						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空用語を理解し、業界人としての会話ができる	
	○	○				ITV・CPMを見て、到着の情報を把握し、機材等の準備ができる	
	○	○				LIを見て、出発情報を把握し、必要な搭載方法を判断できる	
	○					重量管理を理解し、搭降載作業での安全作業を説明することができる	
	○					BULK機材の作業を理解し、作業の手順を説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前期の振り返りと貨物室(CARGO COMPARTMENT)					
	2	整備業務(Marshalling/Towing/Wing Watch作業)					
	3	整備業務(Marshalling/Towing/Wing Watch作業)					
	4	整備業務(Marshalling/Towing/Wing Watch作業)					
	5	グランドハンドリングの概要(航空用語ITV)			ITVの用語の復習を行う(0.5時間)		
	6	グランドハンドリングの概要(航空用語ITV)					
	7	グランドハンドリングの概要(航空用語LI&CPM)			LI・CPMの用語の副賞を行う(0.5時間)		
	8	グランドハンドリングの概要(航空用語LI&CPM)			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	9	理解度テスト					
	10	Weight & Balance(重量)			各重量について復習を行う(0.5時間)		
	11	Weight & Balance(安定飛行)			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	12	Weight & Balance(プランの方法・優先)					
	13	搭載・取り卸し作業					
	14	搭載・取り卸し作業					
15	理解度テスト						
評価方法	(1)授業中での口頭質問 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)定期試験の実施 以上を、以下の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	理解度テスト(筆記/2回)	◎	○				20%
	授業中の質問	◎			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	航空品質管理 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	河野 浩一		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	エアラインのグループ企業にて、グランドハンドリング業務に従事		
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	空港地支援業務従事者として、安全運航に関する意識・感性・手法を学びイレギュラー回避能力を向上させる。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空業界での「安全」の考え方を理解し、安全に関する重要性を説明することができる	
	○					事故のメカニズムと要因、また事故防止の概念を理解し、説明することができるようになる	
		○		○		危険予知トレーニングの必要性和手法を理解し、4RD分析が実施できるようになる	
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	安全管理一般			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	2	安全管理一般			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	3	安全管理一般			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	4	機体付近の安全・高所作業の安全・消火器			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	5	機体付近の安全・高所作業の安全・消火器			授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)		
	6	KYT(危険予知トレーニング)					
	7	KYT(危険予知トレーニング)					
	8	授業全体の振り返り 理解度テスト					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)グループワーク (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)定期試験の実施 以上を、以下の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎					70%
	理解度テスト(筆記/1回)	◎	○				10%
	グループワーク(2回)	○	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	第三級陸上特殊無線技士						
科目名(英)							
単位数	0	時間数	8	担当者	外部講師		
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	電波法及び無線工学を学習し、電気通信の理解度を深める。合わせて第三級陸上特殊無線の国家資格を取得することを目標とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					電波法令の目的(法令の概要、用語の定義)の説明をすることが出来る	
		○				無線従事者が知っておくべき内容と役割を認識し、それを説明することが出来る	
		○				無線工学(電気の基礎、半導体、回路計算など)を理解し、応用することが出来る	
		○				第三級陸上特殊無線技士に合格することができる	
テキスト・教材 参考図書	第三級陸上特殊無線技士用(法規、無線工学)標準教科書 一般情報通信振興会						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	養成講座受講					
	2	養成講座受講					
	3	養成講座受講					
	4	養成講座修了試験					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	講座を受講し、修了試験に合格した者は評価「R」とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	修了試験	◎					100%
履修上の注意	出席が6時間に満たない場合は、修了試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策 I B					
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I A					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	岡本 彩 石田 小雪	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	岡本:大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)	
対象学科・学年	エアポート科1年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集、TOEIC L&Rテスト公式問題集					
回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、リスニング、大問1				
	2	リスニング、大問1(短文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	リスニング、大問1(短文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	リスニング、大問1(短文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	リスニング、大問2(長文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	リスニング、大問2(長文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	リスニング、英作文対策				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	リスニング、英作文対策				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	リスニング対策、ポキャブラリー復習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検本試験解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検本試験解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	リスニング、大問1(短文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	リスニング、大問1(短文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	リスニング、大問1(短文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	リスニング、大問2(長文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	リスニング、大問2(長文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	リスニング、大問2(長文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
21	リスニング、大問2(長文の語句補充)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	

授業計画	22	リスニング、大問2(長文の語句補充)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	23	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	24	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	25	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	31	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	32	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	33	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	34	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	35	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	36	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	37	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	38	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	39	リスニング、英作文対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	40	リスニング、英作文対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	41	リスニング、英作文対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	42	英検2級模試筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	43	英検2級模試リスニング、筆記解説①	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	44	筆記解説②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	45	後期まとめおよび期末試験対策					
	評価方法	(1)学内で英検を実施する。英検2級完全合格を90点、1次合格を85点、1次不合格のバンド-1~-3は80点~75点、バンド-4~-6は75点~70点、バンド-7以下は65点とする。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	○				60%
小テスト		◎	○				40%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定対策(TOEIC) I B					
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	和田 菜穂	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアポート科1年					
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるBレベルTOEIC730点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・商談を始める前のアイスブレイキングで用いられる一般的な話題(天候、最近の出来事等)について、理解することができる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・電話がかかってきた際に相手の名前を聞き、担当者に取り次ぐことができる。
	○	○				英語の履歴書を作成することができる。(書く)
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	導入、夏休み明け復習テスト				
	2	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	3	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(品詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	4	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(代名詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	5	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	6	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(比較)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	7	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(形容詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	8	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	9	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(副詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	10	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(時制)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	11	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	12	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(態、コロケーション)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	13	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(不定詞、動名詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	14	中間テスト(TOEIC)①				
	15	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	16	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	17	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(前置詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	18	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	19	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(関係詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	20	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	21	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	22	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。	
	23	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
24	TOEIC直前模擬試験 Q&A			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。		

	25	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	26	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	27	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	28	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	29	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	30	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	31	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	32	中間テスト(TOEIC)②					
	33	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	34	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	35	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	36	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	37	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	38	TOEIC直前模擬試験 Q&A	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	39	Merry X'mas Entertainment					
	40	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	41	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	42	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	43	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	44	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	45	定期試験対策 学期総括					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを中間(10月)、学期末に実施する。(12月実施) 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		5%
Cver letter&Resume提出	◎	○				5%	
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策 I B					
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	野々村賢一	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	英語講師21年	
対象学科・学年	エアポート科1年					
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング				
	2	英検対策 大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	3	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	4	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	5	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	6	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	7	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	8	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	9	英検模擬試験 問題1 筆記			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	10	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	11	英検模擬試験 解答&解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	12	英検本試験解説 大問1			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	13	英検本試験解説 大問2			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	14	英検本試験解説 大問3			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	15	英検本試験解説 大問3			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	16	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	17	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	18	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	19	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	20	オリエンテーション、大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	21	英検対策 大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	22	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	23	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	
24	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。		

	25	英検対策 大問4(長文)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	26	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	27	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	28	英検模擬試験 問題1 筆記	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	29	英検模擬試験 解答&解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	30	英検模擬試験 解答&解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	31	英検模擬試験 解答&解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	32	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	33	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	34	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	35	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	36	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	37	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	38	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	39	英検対策 大問4(長文)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	40	英検対策 大問4(長文)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	41	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	42	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	43	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	44	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	45	後期のまとめ	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	<p>(1)学内で英検を実施する。英検準2級完全合格を85点、1次合格を80点、1次不合格のバンド-1は75点、バンド-2は73点、バンド-3は70点、バンド-4は68点、バンド-5は65点、バンド-6は63点、バンド-7以下は60点とする。</p> <p>(2)定期試験(筆記)を実施する。</p> <p>(3)小テストを実施する。</p> <p>以上を下記の観点、割合で評価する。</p> <p>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	企業インターンシップ						
科目名(英)							
単位数	8単位	時間数	320時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	実際に空港に於いてグランドハンドリング業務を体験し、専門知識や技能を身に付け、社会人としての意識の定着を図る。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			職場における敬語表現を身に付け、実際に使うことができる。	
			○			業界用語を学び、それを使ってコミュニケーションをとることができる。	
			○			就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
			○			個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
		○				自ら仕事を見つけ、率先して行動することができる。	
テキスト・教材 参考図書	関連資料プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	実習前準備 自己紹介シートの作成					
	2	実習前研修①身嗜みや心構え				プリントを事前に読んでおく(0.5時間)	
	3	実習前研修②業界用語の確認				プリントを事前に読んでおく(0.5時間)	
	4	実習前研修③挨拶、緊急時の連絡方法				プリントを事前に読んでおく(0.5時間)	
	5	各企業でのインターンシップ(5~160)					
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)事前研修時に2レター、3レター、業界用語の確認テストを実施 (2)報告書 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト(筆記)	○	◎				50%
	報告書の提出	○			◎		50%
履修上の注意	事前研修時に実施する確認テストで9割以上正解出来ない場合、インターンシップに参加できない可能性もある。						

科目名	ビジネス実務 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本 美和子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行・航空業界にて接客業を経験		
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	社会人として好感を持たれる態度や話し方、社会人として求められる心構えやマナーを身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					好感が感じられる態度や話し方ができる。	
			○			相手の立場に立って考え行動ができる。	
	○					適切な敬語を使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	ウィネット 実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション・自己紹介					
	2	社会人としての心構えとは					
	3	身嗜みのマナー・基本動作					
	4	会社組織の仕組み、正しい指示の受け方と報告の仕方					
	5	報告・連絡・相談の重要性					
	6	言葉遣いの基本 ～話し方・聞き方～					
	7	言葉遣いの基本 ～敬語の基本～					
	8	言葉遣いの基本 ～間違いやすい敬語表現～					
	9	来客対応 ～接遇の心構え～					
	10	来客対応 ～受付対応・案内の仕方～					
	11	来客対応 ～名刺交換～					
	12	来客対応 ～お茶の入れ方～					
	13	電話対応 ～電話の受け方・伝言メモの取り方～					
	14	電話対応 ～正しい電話のかけ方～					
15	前期の授業の補足説明						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)ロールプレイング 以上を、以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	ロールプレイング	○	○	○	◎		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる。	
	○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる。	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる。	
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス説明、ニュース			次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)		
	2	ROUND11: 漢字の知識、国際組織、英単語の知識			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	3	ROUND12: 英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	4	ROUND13: 四字熟語、社会保障制度、各国の貿易 ROUND14: 方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	5	ROUND14: 社会(政治・経済) ROUND15: 漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会について			次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)		
	6	ROUND11~15 確認テスト			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	7	ROUND16: 漢字の知識、歴史、図形の面積・体積			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	8	ROUND17: 日本語・英語のことわざ			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	9	ROUND17: 歴史、英文和訳、文学史			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	10	ROUND18: 経済、名数、短歌・俳句			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	11	ROUND19: 漢字の知識、英単語の知識、人口の推移			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	12	ROUND20: 漢字の知識、英文補充、歴史			次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)		
	13	ROUND16~20 確認テスト			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	14	ROUND11~20 総まとめ			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
15	試験対策			試験範囲の部分の復習(1.5時間)			
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト (3)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	未定		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	航空業界の各企業で実施されるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。	
	○					計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。	
	○					四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	教材:「最新最強のSPIクリア問題集」成美堂出版、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	仕事算(基礎問題)			後期使用テキストで、SPIの主な問題範囲を確認しておくこと。(0.5時間)		
	2	仕事算(応用問題)、鶴亀算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(0.5時間)		
	3	損益算			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	4	速さ・時間・距離			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	5	場合の数			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	6	集合			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	7	前半まとめ			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	8	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト			試験範囲を復習しておくこと。(2時間)		
	9	割引料金と精算、確率(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	10	確率(応用問題)、分割払いと割合(基礎問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	11	分割払いと割合(応用問題)、推論①(順序)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	12	推論②(対応関係)、推論③(内訳)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	13	推論④(命題の正誤)、推論⑤(その他の問題)			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	14	図表の読み取り			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
	15	後半まとめ			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。 (3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。(4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				40%
	出席回数・宿題・確認テスト等	○			◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Excel						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	Excel2019を使用し、表計算処理能力を身に付け、美辞根雨sの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。また、表計算処理の基礎的な技能を有していることを確認するためExcel表計算処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			Excelで表計算ができる。	
			○			Excelでグラフの作成と編集ができる。	
			○			Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われている正しい用語の説明ができる。	
		○				Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する。	
テキスト・教材 参考図書	「Excel2019クイックマスター(基本編) ウィネット 「Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2019対応)」 サーティファイ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Excelの概要、データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成			テキスト記載の実習問題1~4の表作成を完成させる(0.5時間)		
	3	表の編集(表の構成、書式設定、罫線)			テキスト記載の実習問題7~10のを完成させる(0.5時間)		
	4	セルの書式設定、絶対参照を使う計算・関数(Σから選べる関数)			テキスト記載の実習問題11~15を完成させる(0.5時間)		
	5	いろいろな関数(COUNTA、ROUND類、RANK類、IF)			テキスト記載の実習問題16~18、37を完成させる(0.5時間)		
	6	スパークライン・グラフ機能			テキスト記載の実習問題20~26を完成させる(0.5時間)		
	7	データベース機能			テキスト記載の実習問題34、35を完成させる(0.5時間)		
	8	中間テスト					
	9	検定対策(練習問題1) 解説・実習					
	10	検定対策(練習問題2) 解説・実習					
	11	検定対策(練習問題3) 解説・実習					
	12	試験プログラムの使用方法・検定対策(模擬問題1) 各自演習・質疑応答					
	13	模擬試験1回目					
	14	検定対策(模擬問題2) 解説・実習					
15	期末試験実施						
評価方法	(1)検定試験と同程度の実技期末試験 (2)中間テストを行う (3)授業の中で検定対策として模擬試験を実施する (4)授業内で行う実習問題を仕上げ、毎回授業の最後に課題として提出する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実施		○	◎			50%
	中間テスト		○	◎			20%
	模擬試験		○	◎			20%
課題提出		○		◎		0.1	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	業界の現状や動向を理解し、就職活動に向けての準備を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			社会人としての身嗜みやマナーを理解し、身に付ける。	
		○				業界の職種への理解を深め、将来の自分自身の姿をイメージできる。	
	○					自己分析の結果を言葉で表現できる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック、求職票、履歴書、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職活動概要・シラバス説明、職業観調査				目標を考える(0.5時間)	
	2	目標設定				求職票の内容を考える(0.5時間)	
	3	求職票準備				求職票の内容を考える(0.5時間)	
	4	求職票準備				下書き準備(0.5時間)	
	5	求職票準備				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	6	求職票受付面接の練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	7	求職票受付面接の練習				面接の受け答えの準備(0.5時間)	
	8	求職票受付面接の練習				履歴書・エントリーシートの内容を考える、作成(0.5時間)	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)期限内提出物 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	期限内提出物	◎			○		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格「D」評価とする。						

科目名	就職対策						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科1年						
授業概要	社会人基礎力を身に付け、企業の採用試験に向けて履歴書・エントリーシート・面接の準備を行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					人前で自己を表現することができる。	
			○			社会人としての意識をもって採用試験対策の面接練習に取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック、求職票、履歴書、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	履歴書・エントリーシートの準備			履歴書・エントリーシートの内容を考える、作成(0.5時間)		
	2	履歴書・エントリーシートの準備			履歴書・エントリーシートの内容を考える、作成(0.5時間)		
	3	履歴書・エントリーシートの準備			面接の受け答えの準備(0.5時間)		
	4	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成			面接の受け答えの準備(0.5時間)		
	5	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成			面接の受け答えの準備(0.5時間)		
	6	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成			面接の受け答えの準備(0.5時間)		
	7	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成			面接の受け答えの準備(0.5時間)		
	8	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成					
	9	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成					
	10	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成					
	11	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成					
	12	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成					
	13	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成					
	14	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成					
15	企業採用試験(面接)練習、履歴書・エントリーシート作成						
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)期限内提出物 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				○		80%
	期限内提出物	◎			○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、不合格「D」評価とする。						